

運動会、ありがとうございました！

学校正門のキンモクセイの花が、やさしい香りを漂わせる季節になりました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。



さて、9月18日（日曜日）に実施しました第135回の秋季大運動会には、地域内外からたくさんの方々の参加を賜り、誠にありがとうございました。本番の一週間前から台風による荒天が心配され、頭を悩ます日が続きましたが、結果的には、当日の早朝時点で、順延をしても天気が回復するとは限らないと判断し、体育館での当日開催としました。子どもたちが、少々物足りなさを感じるかもしれないという危惧もしておりました。しかし、制限された条件の下であっても、坂本小学校の子どもたちであれば、



きつと精一杯の頑張りをを見せてくれると確信して、開催に踏み切ったところです。結果として、ほとんどの方から素晴らしい運動会であったとの感想やご意見をいただき、有り難く感じています。

ただ、次年度以降、やはり開催時期を考慮する必要性を感じました。秋雨前線が増す頃であること、台風シーズンであること、敬老の日や例大祭の直前で延期す

ることが他の行事に影響することなど、様々な要素を鑑み、10月第1日曜日の開催も候補の一つとして頭に入れて



おいていただきたいと思います。今後、関係諸機関・団体と協議をしたいと思います。

子どもたちの運動会の練習風景を少し紹介したいと思います。開催時期が9月の中旬という、他の市町村であれば中学校が開催する時期ということもあり、子どもたちは1学期末から運動会の練習に取りかかりました。

団長さんを中心に、昼休みから全体リレーの練習をしていました。自分たちで走る順番を決め、バトンパスの仕方も試行錯誤を繰り返しながら、また、お互いに励まし合いながら取り組んでいました。

応援の練習も取りかかりが早かったです。しかも、毎日が本番さながらの練習で、九月末から運動会が終わるまで、まったくといってよいほど昼休みはありませんでした。

全体練習の際は、これは本校ではいつも見られる光景ですが、上級生が下級生に常に目配りをし、温かく見守ってくれていました。そして、練習の始まりには、今日の頑張ってもらいたいことを、練習の終わりには、今日の練習のよかったところと悪かったところを、団長さんがみんなに伝えるという小学校レベルではあまり見たことのない光景も見せてくれました。



このように、子どもたちは真夏の暑いうちから、一生懸命に練習に取り組み、本番でも思う存分その成果を発揮してくれました。二人の団長

さんが、団長になることが決まった時に、運動会が終わっても団長であり続け、みんなを引っ張っていきたくて決意した、その背景には、昨年度の団長さんのようになりたいというよき先輩の姿があったことをここでお伝えしておきます。

運動会を終えて（副団長の作文より）

「運動会で一番心に残った瞬間」

白団副団長 ○○ ○○

ぼくが運動会で、一番心に残った瞬間は、全員リレーだ。理由は、（全員リレーは、確実に負けるね。）と思って



いたからだ。ぼくたち白団は、運動会当日まで一度も勝てなかった。しかも、大差で負けるのが当たり前だった。友だちとは、

「他の種目で勝つしかないね。」と話していた。

ついに、本番の全員リレーだ。走る種目は、きんちょうするはずなのに、今日の全員リレーはきんちょうしない。なぜなら、あきらめていたからだ。スタートの合図が鳴って、一走者が走り出した。二、三、四、五走者とバトンがわたっていく。ぼくは、途中からドキドキしてしまった。練習のように大差をつけられてなかったからだ。ぼくはアンカーで、ぼくの前の走者にバトンがわたった時は、何と白団が勝っていた。ぼくが赤団を引き離して白団が勝った。

小学校最後の運動会で、W優勝したかったが、応援賞は逃してしまった。このくやしさを、来年、中学校の体育大会で晴らしたいと思う。

「運動会で一番心に残った瞬間」

赤団副団長 ○○ ○○

9月18日、運動会があった。私が一番心に残った場面は、最後の団対こうリレーで、赤団がゴールした瞬間



だ。理由は、私たち赤団は、それまで一本も小優勝旗がとれていなかったが、初めてとれたからだ。

これまでの練習では、赤団が勝ったり白団が勝ったりしていた。あまり差はない。

いよいよ最後の団対こうリレーだ。（これだけは絶対にとる。）という強い気持ちでいた。私たちはとても大きい声で応援した。その応援が届いたのか、赤団がリードしていた。そして、アンカーにバトンがわたった。白団のアンカーが追い上げてきたが、赤団のアンカーがにげ切って勝つことがで

きた。

団対こうリレーが終わるとみんなハイタッチなどをして喜んでいて。まわりの大人の人たちには、

「よかったね、最後にとれて。」
と言ってもらってうれしかった。

今年は、体育館で行ったから少し残念だったが、最高の運動会だった。優勝はできなかったけれど、応えん賞をとれてうれしい。この運動会の経験をもとに来年もがんばりたい。

※ 団長さんの作文は、二人とも新聞に掲載されましたので、この学校だよりでは、副団長さんの作文を取り上げました。



敬老の皆様へ

敬老の日の祝賀会での、子どもたちの出し物はいかがだったでしょうか？喜んでいただけただけでしょうか？子どもたちは、日頃の感謝とお祝いの気持ちを込めて発表してくれましたので、きっとその気持ちは汲んでいただけたことと思います。

ところで、祝賀会の際もお伝えしましたが、学校の様子や子どもたちの様子をぜひともご覧いただきたいと思っています。お近くにお越しの際は、ぜひお気軽にお立ち寄りください。一人ではなかなか行きにくいという方は、お誘い合わせの上、グループでおいでいただいても結構です。一月程度、事前に連絡をいただければ、給食も準備できます。（一人240円は、当日に徴収させていただきます。）

子どもたちの健闘を称えます。

◇宮崎日日新聞「若い目」掲載

6年 ○○ ○○ さん

◇宮崎日日新聞「かりぼし往来」掲載

5年 ○○ ○○ 君

5年 ○○ ○○ さん

時事通信社「教育奨励賞」努力賞受賞

時事通信社の第31回教育奨励賞（文部科学省後援、公益財団法人新聞通信調査会協賛）において、五ヶ瀬町内の五つの小中学校が、「多様な価値観に触れるG授業」という地域社会に根差した教育を推進したとして、努力賞を受賞することになりました。これを励みにして、さらに五ヶ瀬町の教育振興に精進していきたいと思っています。